

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.2.0)

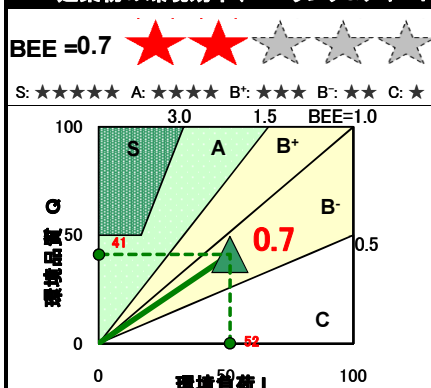
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 榊たけびし共同ビル 新築	階数	地上6F
建設地	京都府京都市	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	49 人
気候区分	地域区分Ⅴ	年間使用時間	5,000 時間/年
建物用途	事務所、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2010年2月 予定	評価の実施日	2009年6月10日
敷地面積	1,290 m ²	作成者	
建築面積	670 m ²	確認日	2009年6月12日
延床面積	2,976 m ²	確認者	

外観パース等

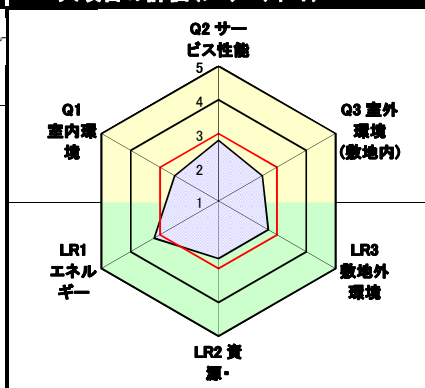
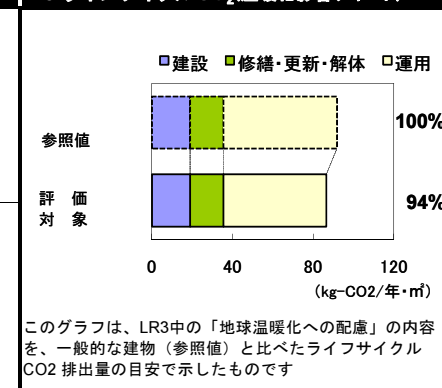
図を貼り付けるときは

シートの保護を解除してください

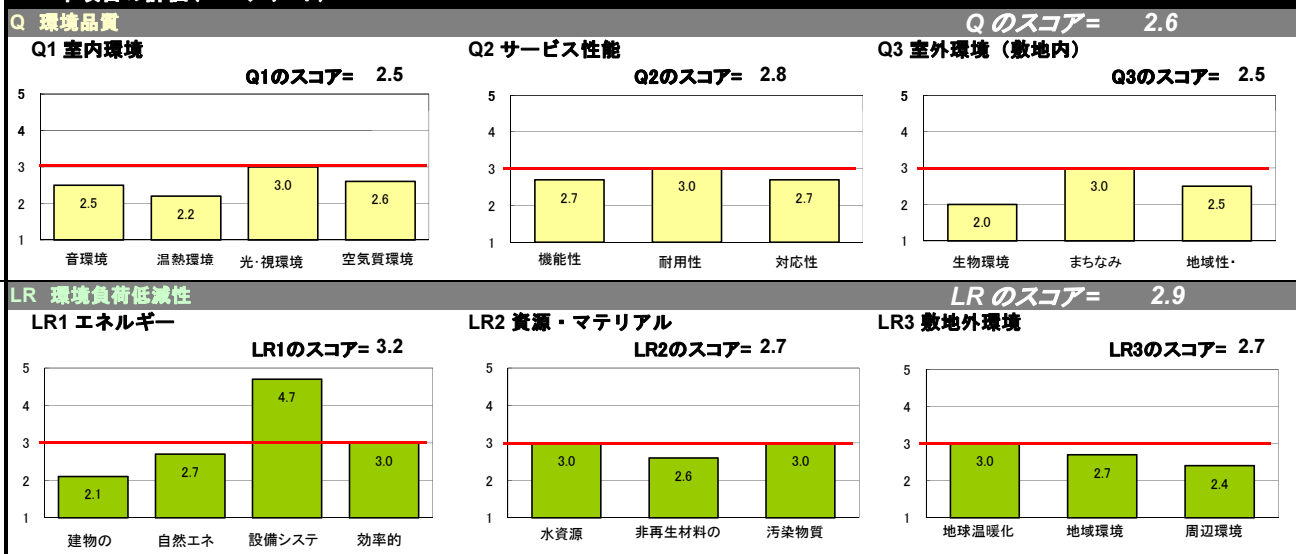
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。		注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
シックハウス対策	室内空間のゆとり	建造物修景地区における条例に基づく計画とした
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
消費電力の低減	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される